

平成15年度

県立高等技術専門校  
評価システム

**内部評価結果**

浜高等技術専門校

# 目 次

1	内部評価結果（総括）	.....	1
2	普通課程		
	(1) 電子制御科	.....	3
	(2) 自動車整備科	.....	7
	(3) アパレルシステム科	.....	10
	(4) 建築技術科	.....	13
3	在職者訓練	.....	16
4	離転職者訓練	.....	18
5	運営	.....	20

## 内部評価結果（総括）

### 浜高等技術専門校

はじめに

- ・第7次福島県職業能力開発計画（平成13年～17年度）に基づく高等技術専門校評価システムが平成15年度において確立されたところである。これにより、本校の現状を各評価項目に基づき点検した。
- ・今後、浜通り地域における産業構造の変化や企業ニーズに適時的確に対応していくため、この結果をPDCAサイクル、すなわち計画、実施、評価、改善のサイクルにおいて出来るものから最大限改善を図っていくこととしたい。
- ・以下、主な項目について自己点検の結果（内部評価）を列挙する。

#### 1 普通課程

< 訓練目標について >

- ・普通課程における訓練目標として、多様な技能及びこれに関する知識を有する人材を育成し、地域産業の発展に寄与することであるが、これらについては各科と的確な訓練目標の設定に努めており評価できる。一方、地域・産業ニーズについてはなお一層の導入を図るべきと考える。

< 訓練内容について >

- ・各訓練科ごと概ね評価できるが、地域・産業ニーズの導入についてはさらに検討すべきと考える。

< 訓練環境 >

- ・時代に即応した新型の機器整備について、なお一層計画的に導入を図る必要があると考える。

< 入学方法について >

- ・本校への応募状況については、各科にバラつきがみられる。特に自動車整備科においては応募倍率が高く、受験生にとっては本科への入学が困難な状況となっている。反面、パレルシステム科においては定員充足が例年厳しい状況にある。今後、多様な人材を育成し地域に貢献できる人材を輩出するためにも、募集方法、募集定員、高校（生）へのPR方法等改善・検討が必要と考える。

< 就職状況について >

- ・就職においては各科職員が全力を傾注し、特にOB等の在籍企業には頻繁に訪問し、厳しい雇用情勢にもかかわらず就職率100%を達成している。
- ・また、能力開発課における事業主委託先開拓員と密接な連携、情報交換のもと全員就職に結びつけることができ、好結果を出している。
- ・また修了生の定着状況については、数年内に離職していくものが若干見受けられるが、将来へのステップアップとしての前向きな転職もあり、一概に離転職については評価出来ない面も見受けられる。

< 技能照査について >

- ・2年間の訓練における技能・技術の総仕上げとして全員が合格し、技能の習得を達成している。

< 資格取得について >

- ・資格取得については、全体で取り組み指導するもの以外、各自の進路に応じたよりきめ細かな資格取得が検討課題として上げられる。

#### 2 在職者訓練

現在実施している在職者訓練については概ね計画通りに進行しているが、下記の点については今後検討・改善を要するものとする。

・訓練目標及び募集について

概ね計画通りに進行しているが、目標設定にあたってはさらに地域・産業ニーズを踏まえて設定することが必要であるとする。

- ・訓練内容について  
訓練内容については、さらに地域・産業ニーズを踏まえて改善することが必要であると考ええる。
- ・施設について  
一部ではあるが、在職者訓練の施設整備の面においてニーズに応えられないものがあるので、今後の施設の在り方について検討が必要であると考ええる。

### 3 離転職者訓練

- ・現在実施している離転職者訓練については概ね計画通りに進行しているが、離転職者のキャリアアップを図り、再就職を支援するためにもなお一層の地域・産業ニーズの把握に努める必要があると考ええる。
- ・現在、コース設定についてはIT関連、福祉、起業家育成等を中心に設定しているが、コースの多様性さらには各コースの内容の高度化について、改善・検討の必要があると考ええる。

### 4 運 営

#### < 組織・管理運営について >

- ・組織・管理運営面において、将来を見据えながら地域ニーズに十分に答えられる組織体制の整備について検討する必要がある。
- ・即ち、現行の普通課程中心から、今日の経済、雇用状況を考慮した短期課程（在職者訓練、離転職者訓練、未就職者訓練等）の訓練について検討することが必要であると考ええる。

#### < 技能の伝承について >

- ・今日までの産業基盤を支えた技能の伝承について、指導内容、科目設定、人材の活用等について検討する必要があると考ええる。

#### < 指導体制の充実について >

- ・指導体制の充実として、指導員配置についての見直し、教科担任制の実施、指導員の資質向上策、カウンセラーとしての各種相談・援助、就職支援等を図れるように検討する必要があると考ええる。

#### < 今後の浜校整備のあり方について >

- ・平成元年度に策定した「福島県立技術専門校整備基本構想」に基づき本校の整備を推進してきたところであるが、以来15年を経過して国内の経済状況、雇用状況、技術革新、少子高齢化の進展など大きく変化しているところである。従ってこのような実情を踏まえ、新規高等学校卒業者、若年未就職者、在職者、離転職者、障害者、中高年齢者などのニーズに応えられるような能力開発のあり方について、中長期的な展望に立った「福島県立高等技術専門校新整備構想（仮称）」の策定に向けた調査検討を行う必要があると考ええる。

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標			
1  普 通 課 程	(1)普通課程訓練目標 多様な技能及びこれに関する知識を有する人材を育成し、地域・産業の発展に寄与するため、普通課程における職業訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し、訓練科ごとに設定され、かつ、実現に向け努力されていること。	目標設定 普通課程訓練目標が、訓練科ごとに設定され、適切であること。	—	(A)	B	C
		【課題】 ・評価できる				
		ニーズ導入 普通課程訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	—	A	(B)	C
		【課題】 ・原子力発電所依存型地域であるため、強電科目や強電関連資格（第1種電気工事士）の導入を検討する必要がある。 ・コンピュータ利用技術の導入を更に検討する必要がある。				
	目標達成 普通課程訓練目標の実現に向け、努力されていること。	—	(A)	B	C	
		【課題】				
	(2)普通課程訓練内容 各訓練科の職業訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための職業訓練内容が、地域・産業ニーズを勘案し設定され、実施されていること。	教科指導計画書 各訓練科ごとに、ニーズ教科（学科・実技）が地域・産業ニーズを勘案し設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	—	A	(B)	C
		【課題】 ・原発関連やプログラム関連の科目の充実を図る必要がある。 ・学生の能力差を考慮し授業のグループ化なども検討する必要がある ・教科編成指導計画は企業ニーズ、学生のレベル等を考慮して計画を立案すべきである。 ・電子回路やシーケンス回路の設計、光ファイバーに関する教科を更に充実する必要がある。 ・資格取得の時間を多くする必要がある。				
		学科実施状況 学科指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	A	(B)	C
	【課題】 ・概ね計画通りに実施されているが、更に専門資料やマニュアル等を理解できるような指導について検討する必要がある。					
	実技実施状況 実技指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	A	(B)	C	
	【課題】 ・概ね計画通りに実施されているが、更に学生自身のユニークな発想で課題の設定が出来るよう応用力を養わせる必要がある。 ・単能工的な養成の職業訓練でなく、新製品のアイデアを引き出させるような課題設定を検討する必要がある。					

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C
1 普 通 課 程	(2)普通課程訓練内容 各訓練科の職業訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための職業訓練内容が、 <b>地域・産業ニーズ</b> を勘案し設定され、実施されていること。	生活指導 生活指導に係る内容が適切であること。	—	A	(B)	C
	(3)普通課程訓練環境 各訓練科の職業訓練目標の達成及び職業訓練内容の充実のため、必要な施設・設備の整備がなされていること。	施設整備 職業訓練に必要な施設が計画的に整備・改善され、活用されていること。	—	A	(B)	C
		設備整備 職業訓練に必要な設備が計画的に整備・改善され、活用されていること。	—	A	(B)	C
	(4)入学方法 入校希望者をその適性にあった訓練科に受け入れることにより、訓練効果の向上が図られる選抜方法が採られていること。	応募状況 入校希望者への募集方法・内容等が適切であり、応募者が定員を上回っていること。	応募倍率 1.0以上	(A)	B	C
		入学試験 入校希望者（推薦・一般）の能力及び適性・意欲等が適切に把握できる選抜方法が採られていること。	—	A	(B)	C
(5)就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と密接な連携を図り、学生に対し、雇用情勢の情報収集や相談、指導等の就職支援がなされていること。	就職状況 雇用情勢の情報収集や相談、指導等の支援により、就職率が100%であること。	就職率 100%	A	(B)	C	

## 【課題】

- ・個々の学生の問題が多様化しており、より一層、科・学校単位での協力体制が必要である。
- ・現代の若者の志向を理解した上で、社会人としての人間性やマナー等社会生活に必要な指導を臨機応変に行うべきである。そのためにも、指導者自身も日頃から情報収集を行う必要がある。

## 【課題】

- ・測定器や電子回路設計 CAD 等の新技術に関する機器整備について検討する必要がある。

## 【課題】

- ・設備は計画的に整備されているが、機器の老朽化、故障、損傷等が出てきているので計画的な機器整備と修理が必要である。

## 【課題】

- ・定員以上の応募があるが、工業高校や進学校からの応募者が減少しているため、更に工夫、改善が必要である。

## 【課題】

- ・学生の能力、適性、意欲等が十分に把握できるよう選抜制度について更に改善の必要がある。
- ・適性検査等の導入についても検討の必要がある。

## 【課題】

- ・例年就職率は100%ではあるが、学生の質の変化により就職指導は年々難しくなり、また決定時期も遅れている。このようなことから、指導方法について更に検討の必要がある。

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C
1 普 通 課 程	(5)就職状況 公共職業安定所、企業、 関係機関等と密接な連携 を図り、学生に対し、雇 用情勢の情報収集や相談、 指導等の就職支援がなさ れていること。	定着状況 卒業後3年経過後の定着率 が概ね100%であること。	定着率 概ね 100%			
				A	(B)	C
				【課題】 ・数年経過して、若干名ではあるが、 離職者も出ているので更に調査や指 導の必要がある。		
	(6)技能照査 各訓練科の普通課程に おいて、高等技術専門校 が必要と認める技能・知 識が修得されていること。	技能照査状況 高等技術専門校が必要と認 める技能・知識の修得度が高 く、合格率が概ね100%であ ること。	合格率 概ね 100%			
			(A)	B	C	
			【課題】 ・評価できる。			
	(7)資格取得 各訓練科の普通課程に おいて、資格取得目標が 掲げられ、資格が取得さ れていること。	資格取得 各訓練科の普通課程におい て、資格取得目標が掲げられ、 資格が取得されていること。	—			
			A	(B)	C	
			【課題】 ・就職に必要なと思われる資格につ いては、積極的に取得させるよう指導す べきである。 ・合格率が全国平均を下回る資格につ いては、改善を要する。			

# 総合評価（普通課程）

## 内部評価

A：評価できる (B)：おおむね評価できるが一部改善を要する C：改善を要する

### 【内容】

#### (訓練内容)

- ・カリキュラム作成に係る柱はしっかりしているが、強電に関する科目や製造業の国外生産に対応するための語学指導、さらには機械加工技術の指導が必要である。このことから、科目の更なる見直しとそれに伴う訓練時間の確保について検討する必要がある。
- ・コース制の実施について、検討する必要がある。
- ・多感な年頃にある学生を指導するので、カウンセリング等の充実をはかる必要がある。

#### (訓練環境)

- ・基本技術習得のための測定機器の整備について検討する必要がある。更に、電子回路設計やCAD等の高度な技術を指導するための機器整備についても併せて検討する必要がある。

#### (運営)

- ・新技術や高度な技術の指導について、研修体系を整備することが必要である。

#### (資格取得)

- ・国家資格については、更に合格率を上げるため指導体制が必要である。  
また、高度な資格（電気主任技術者・計装士等）取得に対応できるようカリキュラムの内容について検討する必要がある。
- ・資格の取得においては、学生に自助努力の意識を植え付け、それぞれ達成感が得られるような授業や実習展開を検討することが必要である。

#### (運営)

- ・従来の訓練方法を見直し、ものづくりに必要な企画、開発、試作技術等繰り返しの訓練など、個々の能力にあった能力開発について検討する必要がある。
- ・今後、学生の希望に応じた産業界、企業等に対応できる人材の育成がますます要求されてくることから、地域産業を調査研究し、教科編成指導計画を常に見直すことが必要である。
- ・学生の能力格差や性格の問題は、今後ますます大変になると考えられるので、座学、実習において従来の画一的な指導方法を改善・工夫の必要がある。

評 価 項 目				内 部 評 価			
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C	
1 普 通 課 程	(1)普通課程訓練目標 多様な技能及びこれに関する知識を有する人材を育成し、地域・産業の発展に寄与するため、普通課程における職業訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し、訓練科ごとに設定され、かつ、実現に向け努力されていること。	目標設定 普通課程訓練目標が、訓練科ごとに設定され、適切であること。	—	A	(B)	C	
		【課題】 ・目標の設定については人間性、社会的な内容を付加すべきである。 ・社会人、企業人としての人間形成についても目標に加えるべきである。					
		ニーズ導入 普通課程訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	—	A	(B)	C	
		【課題】 ・接客、応酬話法、プレゼンテーション能力もニーズとして加えるべきである。					
	目標達成 普通課程訓練目標の実現に向け、努力されていること。	—	(A)	B	C		
		【課題】 ・評価できる。					
	(2)普通課程訓練内容 各訓練科の職業訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための職業訓練内容が、地域・産業ニーズを勘案し設定され、実施されていること。	教科指導計画書 各訓練科ごとに、ニーズ教科(学科・実技)が地域・産業ニーズを勘案し設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	—	A	(B)	C	
		【課題】 ・養成施設として、新たな科目の設定に制限がある。そのため、変化が少ないのが課題である。 ・業種別推進会議等の意見をもとに今後の指導、資格に反映させるべきである。					
		学科実施状況 学科指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	A	(B)	C	
		【課題】 ・教科指導計画書の見直し(時間等)が国の基準に基づいているため、時間数を動かさないのが課題である。					
実技実施状況 実技指導に係る内容が計画どおり実施されていること。		—	A	(B)	C		
【課題】 ・学校行事や職員の研修などにより計画どおりにいかないことが多い。							
生活指導 生活指導に係る内容が適切であること。	—	A	(B)	C			
【課題】 ・本人の自主性を重んじて慎重に対応する必要がある。							

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C
1      普      通      課      程	(3)普通課程訓練環境 各訓練科の職業訓練目標の達成及び職業訓練内容の充実のため、必要な施設・設備の整備がなされていること。	施設整備 職業訓練に必要な施設が計画的に整備・改善され、活用されていること。	—	A	(B)	C
		設備整備 職業訓練に必要な設備が計画的に整備・改善され、活用されていること。	—	(A)	B	C
	(4)入学方法 入学希望者をその適性にあった訓練科に受け入れることにより、訓練効果の向上が図られる選抜方法が採られていること。	応募状況 入学希望者への募集方法・内容等が適切であり、応募者が定員を上回っていること。	応募倍率 1.0以上	(A)	B	C
		入学試験 入学希望者（推薦・一般）の能力及び適性・意欲等が適切に把握できる選抜方法が採られていること。	—	A	(B)	C
	(5)就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と密接な連携を図り、学生に対し、雇用情勢の情報収集や相談、指導等の就職支援がなされていること。	就職状況 雇用情勢の情報収集や相談、指導等の支援により、就職率が100%であること。	就職率 100%	A	(B)	C
		定着状況 卒業後3年経過後の定着率が概ね100%であること。	定着率 概ね 100%	(A)	B	C
(6)技能照査 各訓練科の普通課程において、高等技術専門学校が必要と認める技能・知識が修得されていること。	技能照査状況 高等技術専門学校が必要と認める技能・知識の修得度が高く、合格率が概ね100%であること。	合格率 概ね 100%	A	(B)	C	
【課題】				・実習場が狭く、2学年同時の実習に支障がある。 ・車両、教材を保管する場所が少ない。 ・実習場について若干補修が必要。 (雨漏りなど)		
【課題】				・評価できる。		
【課題】				・評価できる。		
【課題】				・適性試験の導入について、検討の必要がある。		
【課題】				・地元企業とのコンタクトの機会が少ない。		
【課題】				・評価できる。		
【課題】				・技能照査の重要性についてさらに指導の必要がある。		

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C
1 普 通 課 程	(7)資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	—	【課題】 ・資格取得については、卒業後、業務に使わないような資格もあり検討を要する。		

### 総 合 評 価 (普通課程)

内 部 評 価		
A : 評価できる	(B) : おおむね評価できるが一部改善を要する	C : 改善を要する
【内容】		
<p>(訓練内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車整備士養成施設基準によりカリキュラムや訓練目標を定めているが、更に整備業界、車体整備業界等からの要望に対応できるよう、指導内容について検討の必要がある。</li> <li>・学生に対して接客、応酬話法、プレゼンテーション能力を指導する必要がある。</li> <li>・学生の生活指導にカウンセリングを応用する必要がある。</li> </ul> <p>(訓練環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の整備(増築・改修工事)及び遊休設備の活用、管理を検討する必要がある。</li> </ul> <p>(入学方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集に関しては、さらにPR活動が必要である。</li> </ul> <p>(運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車体整備に関する研修を取り入れることが必要である。</li> </ul>		

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C
1 普 通 課 程	(1)普通課程訓練目標 多様な技能及びこれに関する知識を有する人材を育成し、地域・産業の発展に寄与するため、普通課程における職業訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し、訓練科ごとに設定され、かつ、実現に向け努力されていること。	目標設定 普通課程訓練目標が、訓練科ごとに設定され、適切であること。	—	A	(B)	C
		【課題】 ・専門性だけでなく、人間形成等の内容を加える必要がある。				
		ニーズ導入 普通課程訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	—	A	(B)	C
	【課題】 ・ニーズの変化の実態も踏まえ、訓練目標について再検討する必要がある。 ・地域ニーズの変化をさらに調査する必要がある。					
	目標達成 普通課程訓練目標の実現に向け、努力されていること。	—	A	(B)	C	
	【課題】 ・目標達成に向け、学生が習得しやすいように内容を改善していく必要がある。					
	(2)普通課程訓練内容 各訓練科の職業訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための職業訓練内容が、地域・産業ニーズを勘案し設定され、実施されていること。	教科指導計画書 各訓練科ごとに、ニーズ教科(学科・実技)が地域・産業ニーズを勘案し設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	—	A	(B)	C
		【課題】				
		学科実施状況 学科指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	A	(B)	C
		【課題】 ・学校行事などにより実際の授業が計画通りにいかない面もあるので、改善を要する。				
実技実施状況 実技指導に係る内容が計画どおり実施されていること。		—	A	(B)	C	
【課題】 ・学校行事などにより実際の授業が計画通りにいかない面もあるので、改善を要する。						
生活指導 生活指導に係る内容が適切であること。	—	A	(B)	C		
【課題】 ・学生の行動、発言等に注意し話し合う機会を多くするなど日常から努力しているが、問題を起こす前に学生の心を読み切れていない面もある。 ・指導面においては、更に時間を費やして指導すべきである。						

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C
1      普 通   課 程	(3)普通課程訓練環境 各訓練科の職業訓練目標の達成及び職業訓練内容の充実のため、必要な施設・設備の整備がなされていること。	施設整備 職業訓練に必要な施設が計画的に整備・改善され、活用されていること。	—	A	(B)	C
		設備整備 職業訓練に必要な設備が計画的に整備・改善され、活用されていること。	—	A	(B)	C
	(4)入学方法 入学希望者をその適性にあった訓練科に受け入れることにより、訓練効果の向上が図られる選抜方法が採られていること。	応募状況 入学希望者への募集方法・内容等が適切であり、応募者が定員を上回っていること。	応募倍率 1.0以上	A	(B)	C
		入学試験 入学希望者（推薦・一般）の能力及び適性・意欲等が適切に把握できる選抜方法が採られていること。	—	A	(B)	C
	(5)就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と密接な連携を図り、学生に対し、雇用情勢の情報収集や相談、指導等の就職支援がなされていること。	就職状況 雇用情勢の情報収集や相談、指導等の支援により、就職率が100%であること。	就職率 100%	(A)	B	C
		定着状況 卒業後3年経過後の定着率が概ね100%であること。	定着率 概ね 100%	A	(B)	C
(6)技能照査 各訓練科の普通課程において、高等技術専門学校が必要と認める技能・知識が修得されていること。	技能照査状況 高等技術専門学校が必要と認める技能・知識の修得度が高く、合格率が概ね100%であること。	合格率 概ね 100%	(A)	B	C	
						【課題】 ・製図室が不足しており、現在1学年しか使えないので、机を敷き詰めたり床で製図をしているので問題である。
						【課題】 ・機器の更新等に時間がかかるので改善を要する。
						【課題】 ・募集方法について更に検討する必要がある。
						【課題】 ・選抜方法は適切であると考えられるが、定員に満たない科では能力、適性とも受験生にかなりの差が出る。
						【課題】 ・評価できる。
						【課題】 ・就職後のフォローアップについて充実を図る必要がある。
						【課題】 ・評価できる。

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C
1 普 通 課 程	(7)資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	—	【課題】 ・資格の取得率向上のため効率の良い指導法について検討する必要がある。		

### 総 合 評 価 (普通課程)

内 部 評 価		
A : 評価できる (B) : おおむね評価できるが一部改善を要する C : 改善を要する		
【内容】		
<p>(訓練内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本のアパレル業界全体が低迷ぎみであり、現在は生産拠点の中国進出、国内への外国人の研修生受け入れなど開校当時とは大きく変わっている。そのため、教科指導内容にこの動きを的確に反映させ、地元企業の求める人材、ニーズをしっかりと把握して人材育成を図るべきである。</li> <li>・服飾デザイン、オリジナル商品企画、コンピュータ活用技術、CG技術等商品開発に関連する指導内容を充実させる必要がある。</li> <li>・コンピュータを利用したデータの保管、管理、転送等インターネットを活用した生産管理システムを指導する必要がある。</li> <li>・商品開発のコンセプト、プレゼンテーション等企画、デザイン関連で必要な内容を取り入れる必要がある。</li> <li>・素材に関する内容を充実させる必要がある。</li> <li>・納期、資材、購買管理等企業における生産システムの指導を検討することが必要である。</li> <li>・縫製技術については、衣料生産の中国移行、日本への中国人研修生受け入れなど生産体系が大きく変化しているため、付加価値の高い縫製手法を取り入れ事も必要である。</li> </ul> <p>(入学方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集(入学時に定員に満たない)と就職(職種、賃金等学生の希望を受け入れる企業が少ない)について、ともに検討・改善を要する。</li> </ul> <p>(運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感性、創造性を磨くことのできる教科内容を取り入れる必要がある。指導にあたっては、職員の研修はもとより業界からの非常勤講師の積極的な活用が必要であるので報酬を含め非常勤講師の待遇もさらに整備する必要がある。</li> </ul>		

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	(A)	B	C
1  普  通  課  程	(1)普通課程訓練目標 多様な技能及びこれに関する知識を有する人材を育成し、地域・産業の発展に寄与するため、普通課程における職業訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し、訓練科ごとに設定され、かつ、実現に向け努力されていること。	目標設定 普通課程訓練目標が、訓練科ごとに設定され、適切であること。	—	(A)	B	C
		【課題】 ・評価できる。				
		ニーズ導入 普通課程訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	—	A	(B)	C
	【課題】 ・地域のニーズを十分に把握する必要がある。					
	目標達成 普通課程訓練目標の実現に向け、努力されていること。	—	A	(B)	C	
	【課題】 ・訓練目標は、二級建築士取得の能力を身に付けさせることであるが、生徒の理解度にも合わせる事が重要である。					
	(2)普通課程訓練内容 各訓練科の職業訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための職業訓練内容が、地域・産業ニーズを勘案し設定され、実施されていること。	教科指導計画書 各訓練科ごとに、ニーズ教科(学科・実技)が地域・産業ニーズを勘案し設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	—	A	(B)	C
		【課題】 ・教科編成会議の内容を更に反映させるべきである。				
		学科実施状況 学科指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	A	(B)	C
		【課題】 ・学生の能力差もあり計画どおり実施できないので、更に指導については検討が必要である。				
実技実施状況 実技指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	A	(B)	C		
【課題】 ・学生の能力差もあり計画どおり実施できないので、更に指導については検討が必要である。						
生活指導 生活指導に係る内容が適切であること。	—	A	(B)	C		
【課題】 ・日ごろの生活指導については、時間的余裕がなく、十分な指導ができていないので検討を要する。						

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	(A)	B	C
1          普          通          課          程	(3)普通課程訓練環境 各訓練科の職業訓練目標の達成及び職業訓練内容の充実のため、必要な施設・設備の整備がなされていること。	施設整備 職業訓練に必要な施設が計画的に整備・改善され、活用されていること。	—	(A)	B	C
		設備整備 職業訓練に必要な設備が計画的に整備・改善され、活用されていること。	—	(A)	B	C
	(4)入学方法 入学希望者をその適性にあった訓練科に受け入れることにより、訓練効果の向上が図られる選抜方法が採られていること。	応募状況 入学希望者への募集方法・内容等が適切であり、応募者が定員を上回っていること。	応募倍率 1.0以上	(A)	(B)	C
		入学試験 入学希望者（推薦・一般）の能力及び適性・意欲等が適切に把握できる選抜方法が採られていること。	—	(A)	(B)	C
	(5)就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と密接な連携を図り、学生に対し、雇用情勢の情報収集や相談、指導等の就職支援がなされていること。	就職状況 雇用情勢の情報収集や相談、指導等の支援により、就職率が100%であること。	就職率 100%	(A)	B	C
		定着状況 卒業後3年経過後の定着率が概ね100%であること。	定着率 概ね 100%	(A)	(B)	C
	(6)技能照査 各訓練科の普通課程において、高等技術専門学校が必要と認める技能・知識が修得されていること。	技能照査状況 高等技術専門学校が必要と認める技能・知識の修得度が高く、合格率が概ね100%であること。	合格率 概ね 100%	(A)	B	C

【課題】

・評価できる。

【課題】

・本校のPRをさらに図る必要がある。

【課題】

・面接の時間を多くするなど、改善を要する。

【課題】

・評価できる。

【課題】

・就職指導の段階で、定着についての指導をする必要がある。

【課題】

・評価できる。

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	Ⓐ	C
1 普 通 課 程	(7)資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	—	【課題】 ・真に必要な資格の見直しが必要である。		

### 総 合 評 価 (普通課程)

内 部 評 価		
A : 評価できる	Ⓐ : おおむね評価できるが一部改善を要する	C : 改善を要する
【内容】		
<p>(訓練内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会情勢、企業ニーズにマッチした内容とすべき点が多少見受けられるので改善を要する。</li> <li>・業界のニーズから建築施工とCAD設計のコースに分けて実習を行っているが、指導内容や課題について更に複雑、高度な課題内容を取り入れることが必要である。</li> <li>・建築関係の教科内容は計画、設計、施工、設備等と幅が広く、限られた時間では限界があるので、内容によっては浅くしたり深くしたりと、指導方法について検討する必要がある。</li> <li>・カリキュラムの編成には、地域のニーズや将来的な展望を含めて組む必要がある。</li> <li>・三次元CADの利用技術を更に充実させ、高度な課題の導入と質の高いプレゼンテーションが出来る教科指導内容を検討すべきである。</li> <li>・パソコンを活用した文書作成、表計算、画像処理等の技術を更に高度化するよう指導内容を検討すべきである。</li> </ul> <p>(就職状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開校以来、就職率100%を維持しているので大変評価できる。</li> </ul>		

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C
2 在 職 者 訓 練	(8)在職者訓練目標 キャリアアップ等を図るための在職者訓練目標が、地域・産業ニーズを踏まえ設定されていること。	目標設定 目標が、在職者訓練コースごとに設定され、適切であること。	――	A	(B)	C
		【課題】 ・コース設定についてニーズ調査不足であるので、改善の必要がある。 ・到達目標について、受講者が理解不足の面もあるので改善を必要とする。 ・在職者のニーズ調査を行う必要がある。				
		ニーズ導入 在職者訓練コースが、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	――	A	(B)	C
		【課題】 ・企業にアンケート調査を実施しているが、ニーズ調査が不十分である。 ・コースによっては応募者が少なく、開講できないコースもあるので改善を要する。				
		目標達成 在職者訓練目標の実現に向け、努力されていること。	――	A	(B)	C
		【課題】 ・受験準備コースにおいて合格率が上がらないコースもあるので検討を要する。 ・受講者自身の都合により欠席、遅刻する者もあり、目標に達しない面もあるので検討を要する。				
	(9)募集方法 地域企業等在職者に訓練コースの内容が周知されていること。	募集方法 地域企業等在職者に訓練コースの内容が周知されていること。	――	A	(B)	C
		【課題】 ・受講者の希望が少ないコースについて、募集方法を検討すべきである。 ・PRについては従業員レベルまで周知されていない面もあるので改善を要する。				
	(10)在職者訓練内容 在職者訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための在職者訓練が、地域・産業ニーズを踏まえ設定されていること。	在職者訓練計画 在職者訓練が、地域・産業ニーズを踏まえ設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	――	A	(B)	C
	【課題】 ・ニーズを踏まえた、コース内容の見直しが必要である。					
	在職者訓練実施状況 学科・実技指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	――	A	(B)	C	
	【課題】 ・受講者のレベルにより進度が遅れることがある。					
(11)在職者訓練環境 在職者訓練の目標の達成及び内容の充実のため、必要な施設・設備整備がなされていること。	施設整備 在職者訓練のために必要な施設が計画的に整備され、改善されていること。	――	A	(B)	C	
	【課題】 ・セミナーに適した教室が必要である。 ・現在のコース設定についての施設、設備はよいが、レベルアップするには外部の施設使用も検討する必要がある。					

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C
2 在 職 者 訓 練	(11) " 在職者訓練の目標の達成及び内容の充実のため、必要な施設・設備整備がなされていること。	設備整備 在職者訓練のために必要な設備が計画的に整備され、改善されていること。	—	<b>【課題】</b> ・一部コースについて機材、材料が不足しているため改善を要する。 ・高度化セミナーを実施するには設備、講師についても検討の必要がある。		

### 総 合 評 価 (在職者訓練)

内 部 評 価		
A : 評価できる (B) : おおむね評価できるが一部改善を要する C : 改善を要する		
<b>【内容】</b> ・今後のコース設定にあたっては地域ニーズ及び内容の高度化について更に検討の必要がある。		

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C
3 離 職 者 訓 練	(12) 離職者訓練目標 キャリアアップ等を図り、再就職を支援するための離職者訓練目標が、地域・産業ニーズを踏まえ設定されていること。	目標設定 目標が、離職者訓練コースごとに設定され、適切であること。	—	A	(B)	C
		【課題】 ・目標設定には、高度化のコースも検討する必要がある。				
		ニーズ導入 離職者訓練コースが、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	—	A	(B)	C
		【課題】 ・コース設定についてはニーズ調査を更にすべきである。				
		目標達成 離職者訓練目標の実現に向け、努力されていること。	—	A	(B)	C
		【課題】 ・受講者の進度により、バラツキがあるため進行管理に改善を要する。				
	(13) 募集方法 離職者に訓練コースの内容が周知されていること。	募集方法 離職者に訓練コースの内容が周知されていること。	—	A	(B)	C
		【課題】 ・パンフレットのみでの募集であり、他の募集方法についても検討すべきである。				
	(14) 離職者訓練内容 離職者訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための離職者訓練が、地域・産業ニーズを踏まえ設定されていること。	離職者訓練計画 離職者訓練が、地域・産業ニーズを踏まえ設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	—	A	(B)	C
【課題】 ・訓練内容に最新の技術を導入したコースも検討すべきである。						
	離職者訓練実施状況 学科・実技に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	A	(B)	C	
	【課題】 ・学科、実技指導内容の確認について回数を増やすなどの改善を要する。					
(15) 就職支援 公共職業安定所等との連携により、求職者への各種再就職支援活動が行われていること。	支援状況 公共職業安定所等との連携により、求職者への各種再就職支援が適切に行われていること。	—	A	(B)	C	
	【課題】 ・受け入れ企業はあるものの、応募者が少ないなど改善を要する。					

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C
3 離 職 者 訓 練	(15) " 公共職業安定所等との 連携により、求職者への 各種再就職支援活動が行 われていること。	就職状況 公共職業安定所等との連携 により、就職していること。	—			
				【課題】 ・ 訓練終了後、雇用条件等が合わず、 就職に至らない者がいるので改善を 要する。		

## 総 合 評 価 ( 離 職 者 訓 練 )

内 部 評 価		
A : 評価できる      (B) : おおむね評価できるが一部改善を要する      C : 改善を要する		
【内容】		
<p>( 訓練目標及び訓練内容 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I T 関連コースについては、ワープロ (ワード、一太郎) 表計算 (エクセル) を中心に展開しているが、雇用に結びつけることを考慮すると、C A D、ネットワーク構築、パワーポイント、H P 作成、インターネット、データベース、画像処理、D T P、事務処理専用ソフトウェア等の範囲をそれぞれ設定する必要がある。そのためには複数のパソコン室を整備する必要がある。</li> <li>・ ナレッジワーカーコースについては、パソコン利用技術のある程度習得している者を対象に実施すべきである。</li> <li>・ 介護サービス科コースについては、実習先の受入先の拡大を積極的に図ることが必要である。</li> <li>・ パソコン初級コースから中級コースを一つのユニットとして訓練できるコース設定及び訓練期間の見直し等を行うことが、雇用に結びつけるために必要である。</li> <li>・ 地域における委託先の開拓を積極的に行なう必要がある。</li> <li>・ 雇用に結びつけるためには、技能を評価できる資格取得が必要であり、コース終了時には、信頼性の高いマウス検定、コンピュータ利用者認定試験、パソコン検定、C A D 利用者技術検定等の各種検定・認定試験を取得できるようカリキュラムを更に検討する必要がある。</li> </ul> <p>( 訓練環境 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 離職者訓練用の成人訓練センターの整備を検討する必要がある。</li> </ul> <p>( 運営 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 離職支援と本校の役割について、雇用能力開発機構、ポリテクセンターいわきとの受講生、地域割、開設コース等十分な協議がなく事業を展開しているので、予算執行計画を含め協議する必要がある。</li> <li>・ 委託訓練実施において、柔軟な対応ができるよう実施要綱の見直しが必要である。</li> </ul>		

評 価 項 目				内 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C
4   運   営	(16)組織・管理運営 普通課程・在職者訓練・離転職者訓練における目標の達成及び内容の充実のため、十分な支援体制がとられていること。	訓練組織 普通課程・在職者・離転職者訓練における目標の達成及び内容の充実のため、指導体制が十分とられていること。	――	A	(B)	C
		指導員研修 指導員の知識・技能等を高めるための各種研修が、地域・産業ニーズを踏まえ実施されていること。	――	A	(B)	C
		地域職業能力開発推進会議（協議会） 同会議の開催により地域・産業ニーズ等を把握し、各訓練科の教育内容の充実に活かしていること。	――	A	(B)	C
	(17)福利厚生 学生が目標に向かって充実した生活を営めるよう、図書室・食堂・寮・体育館・グラウンド等の施設整備がなされていること。	福利厚生施設 学生の福利厚生に必要な施設が計画的に整備され、改善されていること。	――	A	(B)	C

## 【課題】

・概ね評価できるが、将来を見据えた場合には、さらに組織（指導体制）の充実が必要である。

## 【課題】

## 【課題】

・現在の開催方法ではごく一部の把握に終わっているので、人選等も含めて、さらに検討すべきである。

## 【課題】

・寮の収容人数を増やせる手だてを考える必要がある。  
・保健担当職員について検討する必要がある。

# 総合評価（運営）

## 内部評価

A：評価できる      (B)：おおむね評価できるが一部改善を要する      C：改善を要する

### 【内容】

#### （組織・管理運営）

- ・組織・管理運営面において、将来を見据えながら地域ニーズに十分に応えられる組織体制の整備について検討する必要がある。
- ・今日までの産業基盤を支えた技能の伝承を継続する指導内容、科目設定、人材の活用等について検討する必要がある。
- ・普通課程中心の役割から、現在の経済、雇用状況を考慮すると短期課程（在職者訓練、離転職者訓練、未就職者訓練等）の施設内訓練を現状の施設において実施できる体制を整えること必要である。
- ・指導体制の充実としては、指導員配置基準の見直し、教科担任制の実施、指導員の資質向上、カウンセラーとしての相談援助、就職支援を図れるようにする必要がある。
- ・平成元年度に策定した「福島県立技術専門学校整備基本構想」に基づき本校の整備を推進してきたところであるが、15年を経過した現在、国内の経済状況、雇用状況、技術革新、少子高齢化の進展など大きく変化している。このような実情を踏まえ、新規高等学校卒業者、若年未就職者、在職者、離転職者、障害者、中高年齢者のニーズに応えられるような能力開発のあり方について、中長期的な展望に立って「福島県立高等技術専門学校新整備構想」の策定に向けた調査・検討を行う必要がある。

#### （福利厚生）

- ・入学者の出身地域拡大に伴い、福利厚生面では希望者全員を収容できる施設（民間アパートの借り上げ等）を用意することが県民サービスであり、そのことが本校の応募者増に結びつくと考えられるので検討を要する。